
ボクの愛しい凛へ...。 (ときの流れの中で...。 スピン・オフ ワタルの気持ち)

alice

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボクの愛しい凛へ…。（ときの流れの中で…。スピノ・オフ ウタルの気持ち）

【ZINE】

Z9979Z

【作者名】

alice

【あらすじ】

「『ちやんシリーズ』で少し触れたワタル君と凛ちゃんのつながり。そしてワタル君が生まれ変わった凛ちゃんの運命を案じてその修正のためにかけた物語です。彼が生まれ変わっても妹のことを想つていた、ときの流れの連続性を描いていきます。

第一話 ボクと凜

昭和20年

ボクがまだ幼い頃、日本と中国との間に戦争が起つた。
この戦争はずいぶん長い間続いている。

そしてとうとう昭和16年にはアメリカまで敵にしてしまった。

最初の頃は日本が勝つてゐる威勢のいい話を良く聞いていたけど、
そのうちどうも様子がおかしいことを感じてきた。

毎日ラジオから流れてくるニュースでは、アメリカの軍艦を何隻沈
めたとかそういうことを言つてゐるけど、そのわりにはアメリカの飛
行機が日本本土にまでやつてきてたびたび空襲がある。

怖い憲兵たちがいるからみんな何も言わないけど、うちのお父ちゃん
やお母ちゃんや近所の金物屋のおじちゃんたちは「もうやうそろ
危ないかも…。」なんて話をしている。

ボクは小倉 渡。
おぐら わたる

渡という名前は両親が世界の国の人たちと心が渡り合える人間にな
つて欲しいと付けたそうだ。

そしてボクには2つ年下の妹がいる。

凛という名前で、女の子にしては少しヤンチャだけど、心が優しく
て可愛くて、ボクにとつてはかけがえのない大切な妹だ。

日本人にしては少し茶色がかつた亞麻色の髪の毛。
そしてクリツとした少し悪戯そうな大きな目。

彼女はボクが学校から帰つてくると
「ワタル兄ちゃん、遊びー！」
と言つて待ち構えている。

「よし、じゃあ米突きー〇〇回ずつやつたらカルタしようか。」
「ウンー。」

この頃には日本の食糧事情はどうでも悪くなつていて、お店に行つても物がない時代になつていた。

日常の食料のほとんどは配給制で、最初の頃はそれなりに食べられていたけど、そのうちさつま芋ではなくその茎だつたり、砂糖がサツカリンという代用品に代わつたり。

たまに米の配給があつても量はほんの少しでしかも玄米のまま。だからそれぞれの家では、この玄米をお酒の一升瓶に入れて突き精米する。

そして、いつして精米した米もそのまま炊くわけではなく、そのうちのほんの少しを鍋に入れて他の野菜で力サを増やし雑炊にして食べる事になる。

ボクはともかく育ち盛りの凛にとってはとても辛いものだらうと思ふ。

1945年（昭和20年）が明けた頃。
巷ではある噂が流れ始めていた。

「どうも、そろそろ戦争が終わるらしい。」

どこのが出元かわからない根拠のない噂だつたけど、それはどことなく不思議な信憑性を感じる話だった。

「もう海軍にはまともに戦える軍艦はないしなあ……。」

その姿を本当に見たことがあるわけではないけど、特攻隊と呼ばれる人たちがいて飛行機に乗つたまま爆弾を抱えて敵の軍艦に体当たりする人がいるらしい。

自分が必ず死ぬことがわかつて出撃する。
なんて悲しいことなのだろう……。

ただ、大人たちはこんな話をするけど、ボクら子供たちは、日本には大和というもののすごい戦艦がまだ残っているから絶対に負けないと信じきっていた。

それにしても最近は空襲が本当に多い。

前はたびたびやつてくるくらいで、それでも工場とかが狙われるところがほとんどだったけど、最近では街の中にまで爆弾を落としてくる。

先月の終りには、うちから500㍍ほど離れたところに爆弾が落ちて、20人くらいの人たちが亡くなつたらしい。

そのため、ボクの家でも夜寝るときにはすぐに逃げられるように普段着を着たまま、防空頭巾とバッグを枕元に置いていた。

そして運命の3月10日はやつてきた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9979z/>

ボクの愛しい凜へ....。（ときの流れの中で...。スピン・オフ ワタルの気持ち

2011年12月30日22時45分発行